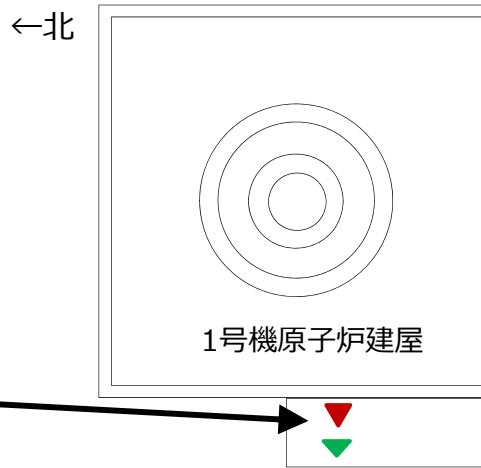


- 1～3号機原子炉建屋については、デブリ取り出し完了までの長期にわたって建屋の健全性を確認するため、定期的に建屋健全性評価を行っております。
- 上記取り組みの一環として、1号機は原子炉建屋1階レベル、2・3号機原子炉建屋は1階レベルおよび5階レベルに地震計を設置し、建屋全体の経年変化の傾向把握等を目的とした観測を継続的に実施しています。
- 1号機原子炉建屋5階レベルへの地震計設置については、1号機大型カバー設置後にオペレーティングフロア上のガレキ撤去後（2027年度以降）を予定していましたが、1号機ペDESTルの健全性を踏まえた議論の中で、1号機原子炉建屋上部付近への暫定的な地震計の早期設置を検討してまいりました。
- 1号機原子炉建屋上部付近への暫定的な地震計の設置位置として、地震観測の信頼性が確保できる原子炉建屋4階フロア付近西側外壁へ3月29日に地震計を設置完了しました。
- 通信状況の確認や動作試験等を行い、準備が整ったことから3月30日から観測を開始いたします。
- 今後、地震観測記録を建屋健全性評価等に活用してまいります。

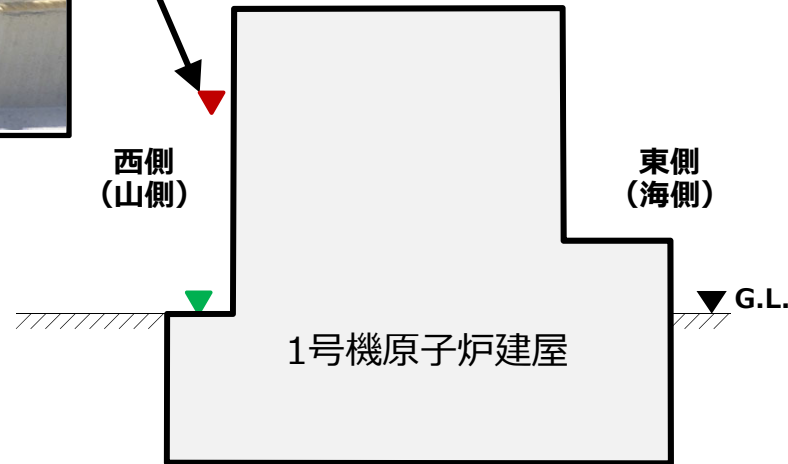
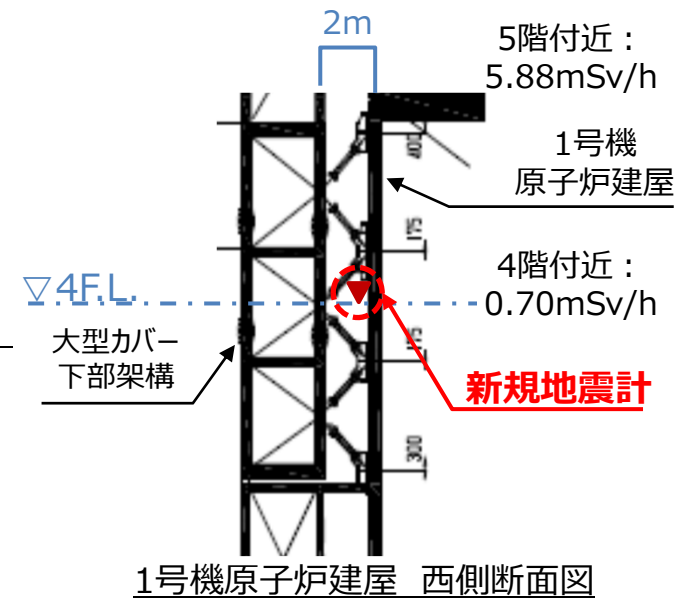
# 【参考】地震計設置位置



1号機原子炉建屋  
4階フロア付近西側外壁



地震計設置位置 (平面図)



地震計設置位置 (断面図)

- 凡例
- ▼ 暫定地震計
  - ▼ 1階地震計 (2023年3月28日観測開始)